

## 森林インストラクター資格試験後の基礎研修

### 「自然観察」～植物を覚える・解説する～

2019年11月9日(土) 晴れ 長池公園

「友の会」基礎研修第二弾「自然観察～植物を覚える・解説する」を八王子市の長池公園で行いました。午前中は開会式後、資料配布、まずは資料から「自然観察のネタ」シリーズの「どうしたら植物の名前がおぼえられるの？」～植物の和名について～と称した丹羽真一氏の話に参加者全員で読みました。地道な努力を続ける、なかなか覚えられずにいる期間がありある時を境に突然ぐんと覚えられるようになるなどの分岐点もあるようでした。そして植物の名前の接頭語や接尾語があると言う事も書かれていました。参加者、スタッフもじっくりと講師の話に耳を傾けていた時間でした。



座学：樹木図鑑の紹介

講師が FIT 内の先輩のアドバイスも聞いてくださり、植物を覚えるコツなども伺いました。また講師からの関心を持ったり愛用の図鑑を持ち歩いたり等様々なアドバイスもして頂きました。参考に講師の手持ちの図鑑や長池公園にある図鑑、書籍もみんなで見る事が出来ました。参加者が自分の使いやすい愛用の図鑑を見つけられる参考になったと思います。

その後、知っている植物の棚卸として講師が準備した長池公園にある植物の名前を列挙した資料の中から植物をどの程度知っているのかをそれぞれ確認してもらいました。名前さえ知らないものもあつたり、頭の中に植物のすべてが思い描けるものもあつたりで一つ一つを確認していきました。

昼食後、模擬観察会の下見として公園内を歩き、参加者一人一種類の解説する樹木または草本を決めて自分で持ってきた図鑑もしくは長池公園自然館にある書籍、図鑑等を参考に解説内容を準備しました。自然観察会を想定して一人5分程度で自分が選んだ植物を解説することを体験しました。聞き役の会員、スタッフは解説の良かった点を指摘し講師からもコメントを頂きました。難しい話はせず、また専門用語は使わないようにやさしい言葉に言い換えたり一方的ではなく質問や身近な共感できる話も交える等、全員が判りやすく楽しい解説でした。

自然観察の基礎研修は「友の会」として今年で2度目の取り組みでした。植物解説の体験をし、参加した友の会会員の皆さん（解説を聴いていたスタッフ2名も含め）が更に研鑽されることを期待します。



実習：植物を解説する【ヒノキについて】

参加者：氏家さん、久保さん、福山さん、古谷さん、星野さん

講師：楨田幹夫（事務局代行）

スタッフ：小野梨香、芝原 久

（報告：FIT友の会運営部会 小野梨香）





演習：知っている植物の棚卸



実習：模擬観察会の進め方について



実習：ヒノキの葉っぱ1枚は



実習：アオキの実は赤、白、黄色があります



実習：ホオノキの葉っぱは「ホオバミソ」に使います



実習：クズは「秋の七草です」



実習：ナンテンの葉っぱは「赤飯の飾り」に使いました



ナンテンの葉っぱとフッキソウの白い実